

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-2-3		事業名	札幌市一般廃棄物処理基本計画の改定		
担当	環境局環境事業部企画課 吉田 211-2912					
全体計画						
事業内容	【平成19年度】 平成17～18年度にかけて開催した札幌市廃棄物減量等推進審議会からの答申を踏まえ、一般廃棄物処理基本計画(以下、「さっぽろごみプラン21」という。)の改定を行う。			<年度別の事業内容>		
	【平成20年度～】 新たに策定した「スリムシティさっぽろ計画」に基づき、資源化できるものの新たな分別収集や処理施設での検査体制の強化、安定的な処理確保のための施設整備など施策・事業を積極的に展開していくとともに、その進ちょく状況を外部組織によって評価し、さらなる事業の推進に反映する。			【平成19年度】 一般廃棄物処理基本計画の改定を行う。		
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)		
	平成19年3月に出された答申に基づき、札幌市一般廃棄物処理基本計画「スリムシティさっぽろ計画」(素案)を策定し、同年9月に公表した。素案公表後、以下のことを実施し、市民意見を伺った。 パブリックコメント ・実施期間:平成19年10月22日～平成20年1月21日[90日間] ・意見件数:473件(意見提出者数:90人) 市民意見交換会 ・実施期間:平成19年10月11日～平成20年2月10日 ・開催数:223回(各地域:203回、各区民センター20回) ・参加人数:8,215人 ・意見件数:8,584件(意見提出者数:3,696人) 市民意識調査 ・対象者:札幌市全域の20歳以上の男女1,500人(層化2段階無作為抽出法) ・調査期間:平成19年12月6日～12月24日 ・回収数(率):1,184件(78.9%) これらで寄せられた意見とタウンークでの発言や「市民の声」で寄せられた意見を踏まえ、計画の内容を変更・追加し、平成20年3月に計画を確定した。			新たに策定した「スリムシティさっぽろ計画」を印刷・配布し、市民へ周知するとともに、この計画で掲げたごみ減量・リサイクル施策の実施に向けて、「雑がみ」のモデル実験事業や生ごみリサイクルパートナーシップモデル事業、地区リサイクルセンター設置、共同住宅のごみステーション対策強化などを行っていく。		
達成目標の状況						
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
[札幌市一般廃棄物処理基本]計画の改定	-	改定	/	/	/	改定 (19年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
<p>市民との連携、市民参加 計画素案を公表後、市民意見交換会を実施し、直接市民に計画について説明し、意見交換を行った。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] - [人材協力] - [情報協力] - [その他の協力] - 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 市民意見交換会は、多くの市民が参加できるよう、各町内会や各区民センターで実施した。</p>						

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-2-3	事業名	札幌市一般廃棄物処理基本計画の改定			
評価(成果)		課題				
<p>計画の改定にあたっては、素案として作成した計画を4カ月という長い期間をかけて市民に提示し、市民意見を伺った。</p> <p>3カ月間のパブリックコメントや223回開催した市民意見交換会などで8,367人の参加を得るとともに、寄せられた延べ3,848人からの意見内容を踏まえて計画を変更・追加し、平成20年3月に計画を確定した。</p>		<p>新たに策定した「スリムシティさっぽろ計画」で掲げた施策を円滑に実施していくために、施策の企画・調整、適切な進行管理、市民との情報共有を確実に実施していかなければならない。</p>				
今後の事業の予定・方向						
<p>「雑がみ」の分別収集や製品プラスチックの燃やせるごみへの変更など、分別区分の変更を予定していることから、変更になる際には、地域での説明会や新たな分別区分を示した「ごみ分けガイド」を全世帯に配布するなど、市民への周知を徹底していく。</p> <p>市民・事業者・札幌市が情報を共有し、それぞれの役割と責務に応じた取り組みを実行していくため、数量目標の達成状況や施策の実施状況などについて、毎年度ごとに点検・評価をして、年次報告書としてまとめて公表していく。</p> <p>なお、家庭ごみ有料化については、関係条例案が第二回定例会で可決され、平成21年7月からの実施が決まっている。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	-	-	-	-	-
	財源内訳					
	国・道支出金					
	市債					
予算	事業費	6,066	114,810	-	-	120,876
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
実績	事業費	4,229	-	-	-	4,229
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				-
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						